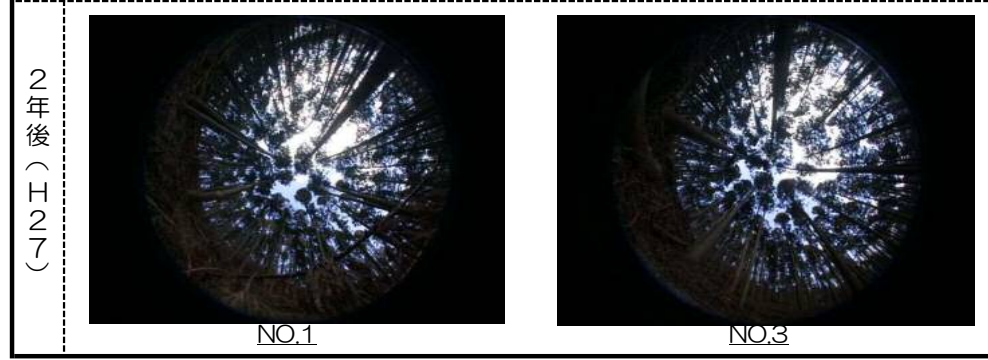


【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数 (本)	38	27	
平均胸高直径 (cm)	26.5	31.0	

・間伐の実施により、林内が明るくなった。
・地表面の平均傾斜は31°と比較的急勾配であるが、スギの落葉やシダ類等に覆われており、安定している。



【所見】

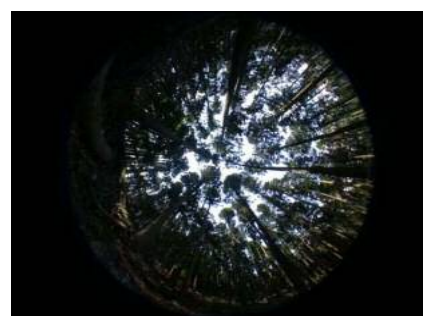
・開空度は低下したものの、植被率は増加した。
・木本種の発生種数は減少したため、今後の推移が注視される。

状況写真

3
年
後
(
H
2
8
)



NO.1



NO.3

状況写真

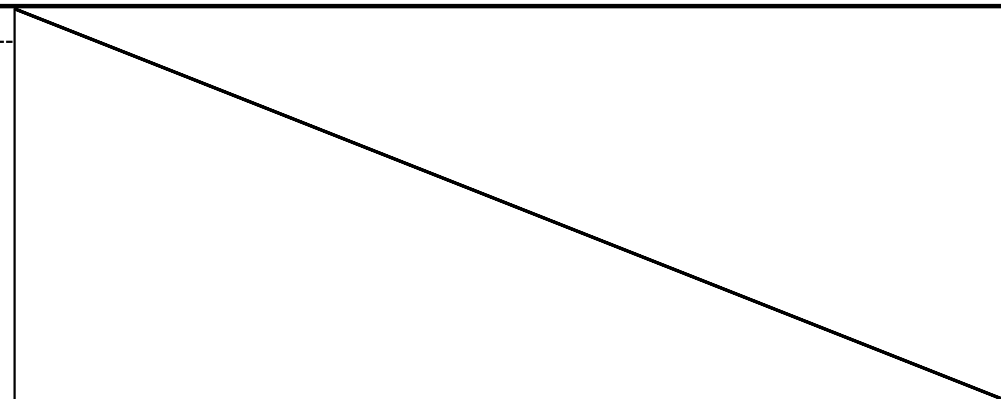
3
年
後
(
H
2
8
)

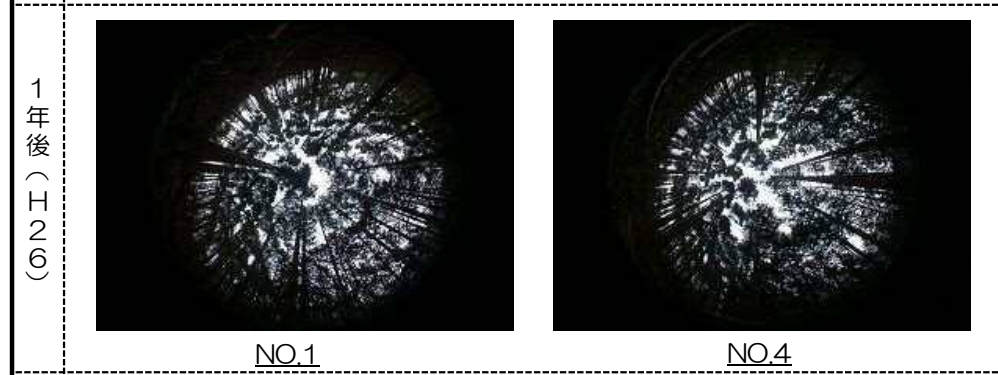
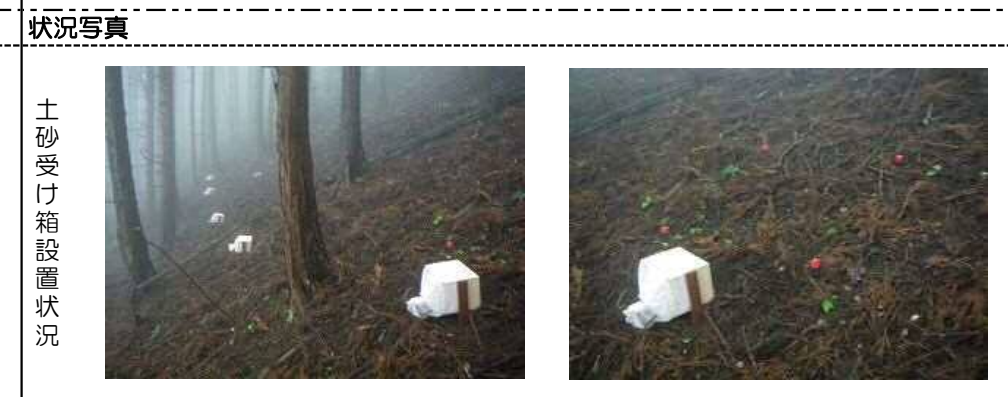
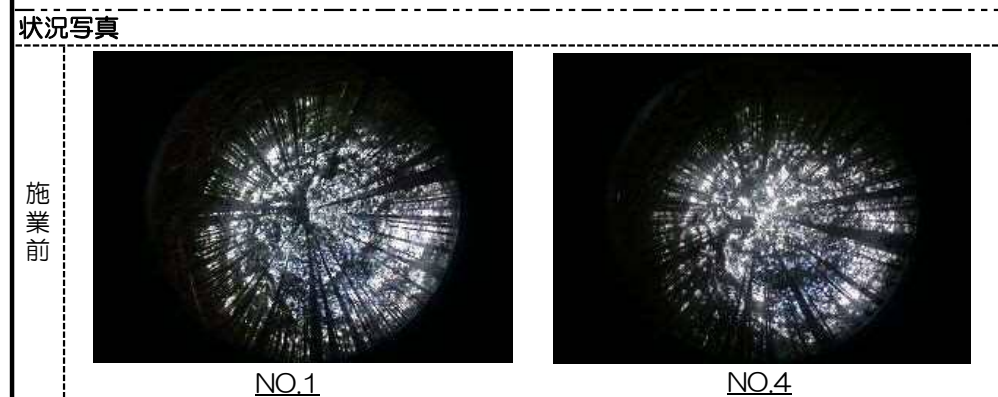
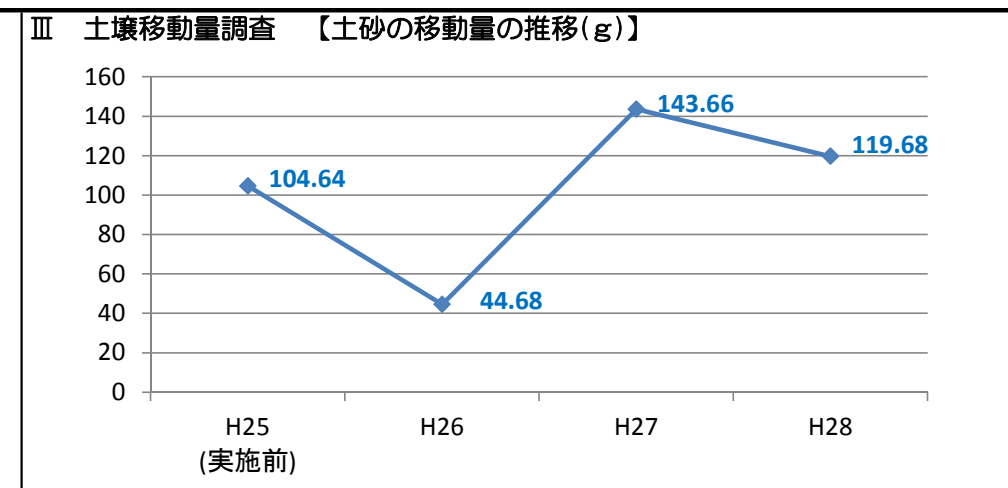
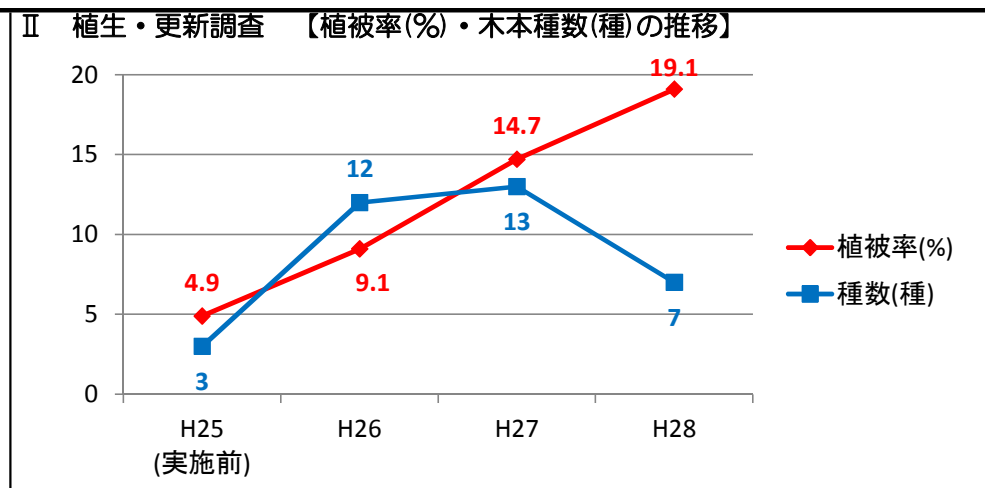
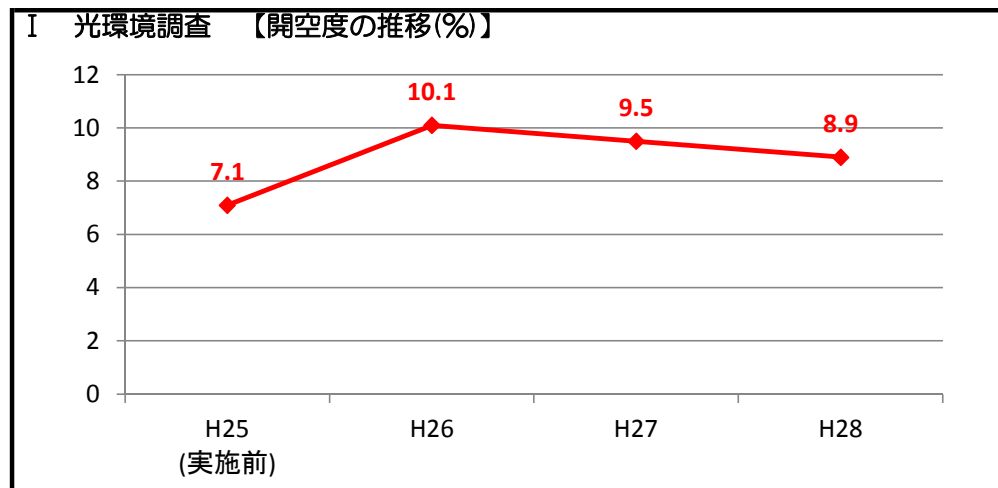
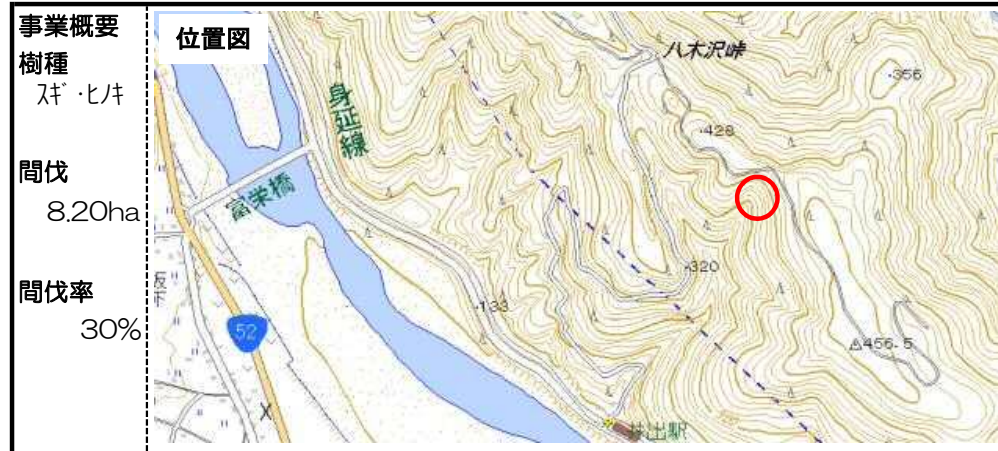


NO.5



NO.7

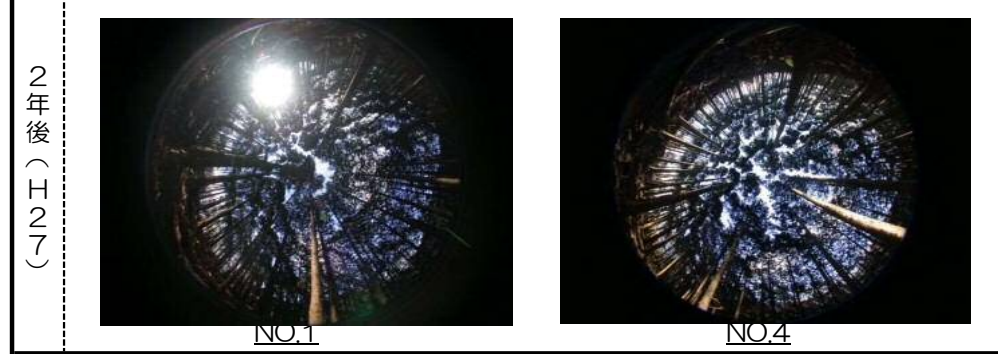




【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	58	29	
平均胸高直径(cm)	25.0	32.3	

・間伐の結果、林内が明るくなった。
・地表面の傾斜は34°と比較的急勾配であるが、スギの落葉が堆積していることもあり、現時点では洗掘等の土砂流出の痕跡は見られない。



【所見】

- ・開空度は若干低下したものの維持されており、植被率も改善し続けている。
- ・土砂移動量は減少し、地表面に浸食の痕跡等もみられていない。
- ・木本種数は減少したため、今後の推移を注視する必要がある。

状況写真

3
年
後
(
H
2
8
)



NO.1



NO.4

状況写真

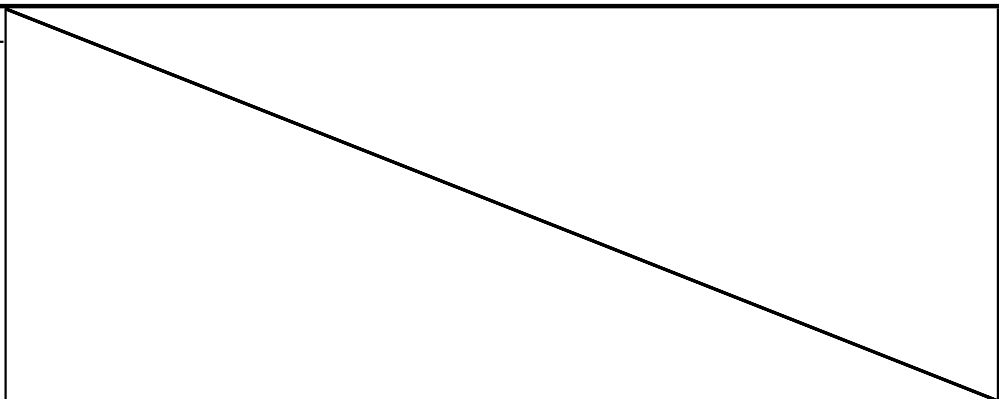
3
年
後
(
H
2
8
)



NO.7

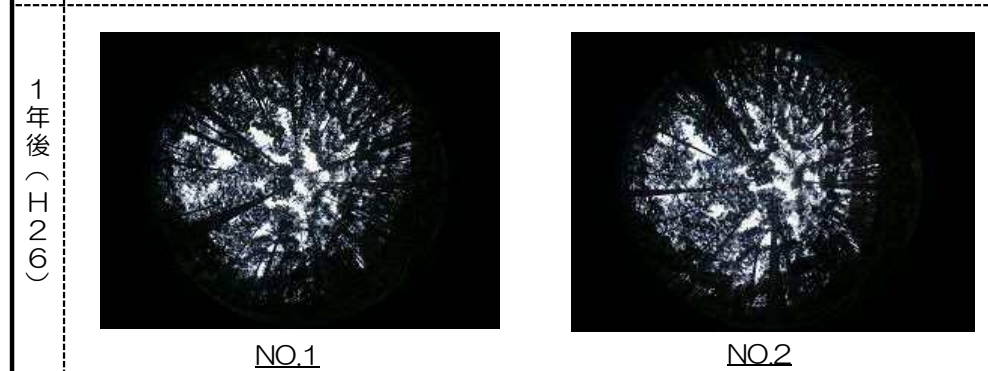
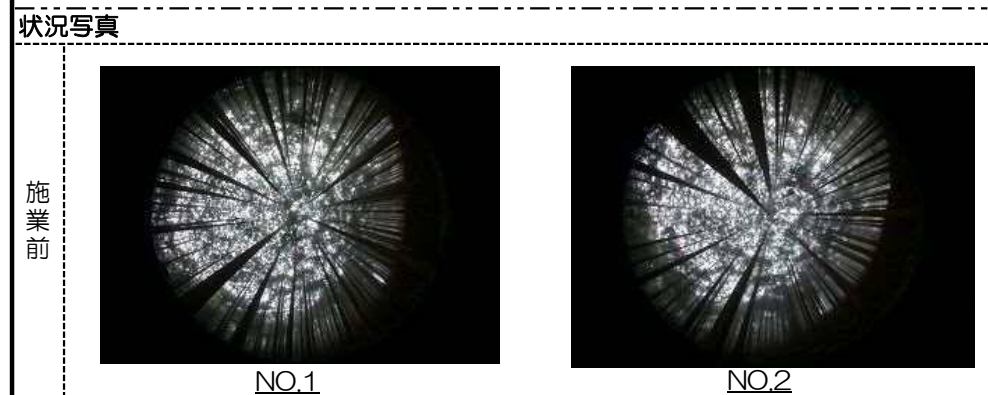
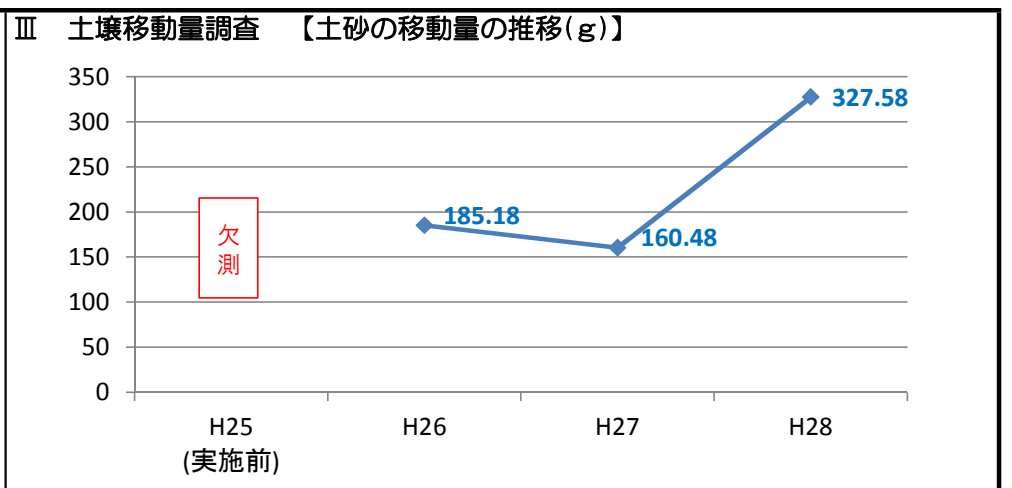
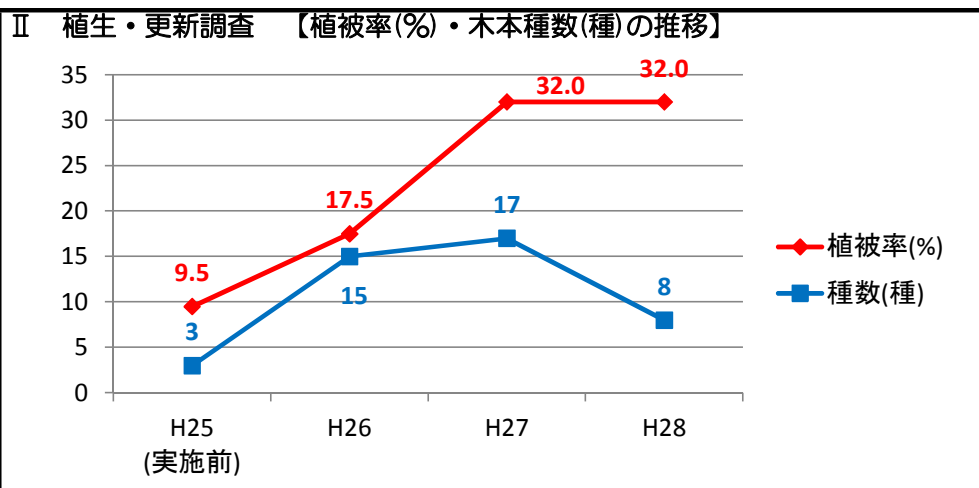
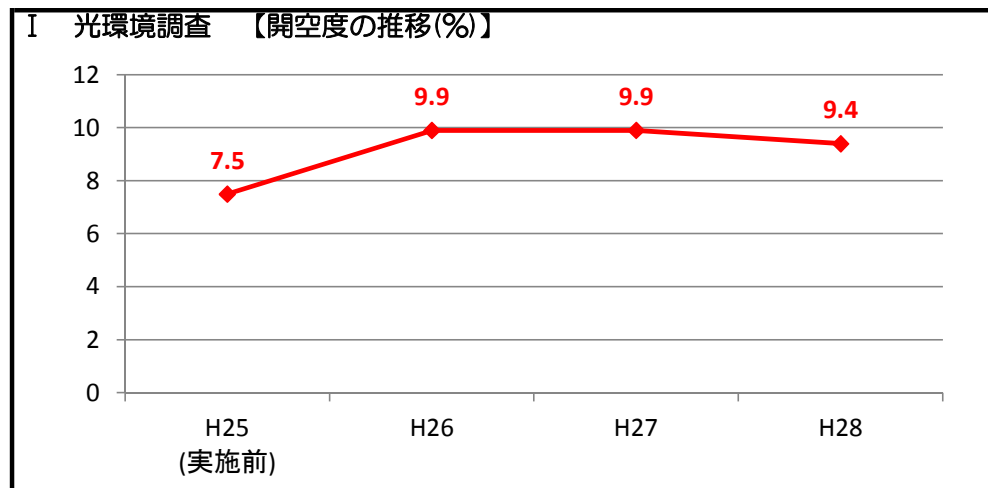


NO.9



事業概要
 樹種 杉・ヒノキ
 間伐 0.87ha
 間伐率 30%

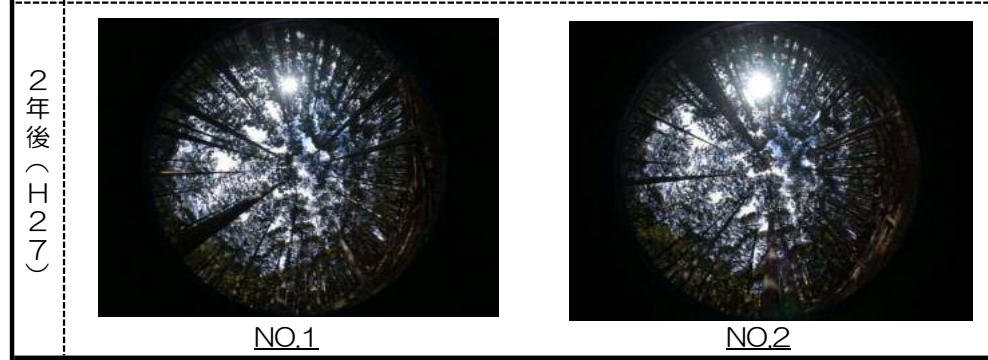
位置図



【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数 (本)	65	37	
平均胸高直径 (cm)	22.6	25.6	

・間伐の実施により、林内が明るくなった。
 ・地表面の平均傾斜は33°と比較的急勾配。
 ・部分的にスギの落葉等に覆われており、林床部は安定している。



【所見】

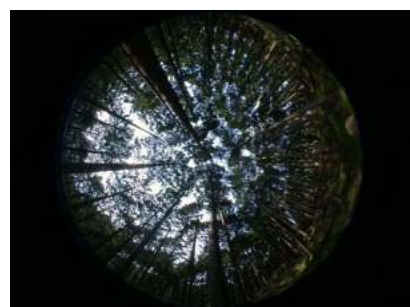
・開空度は若干低下し、植被率は維持されている。
 ・枝葉などのリターとともに比較的まとまった量の土砂の移動が見られ、木本種数も減少したことから、今後の推移を注視する必要がある。

状況写真

3
年
後
(H28)



NO.1



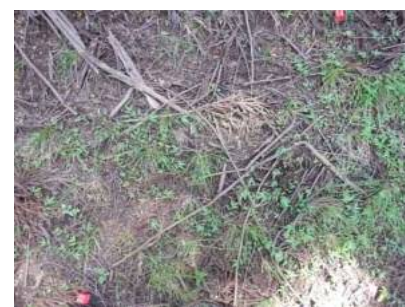
NO.2

状況写真

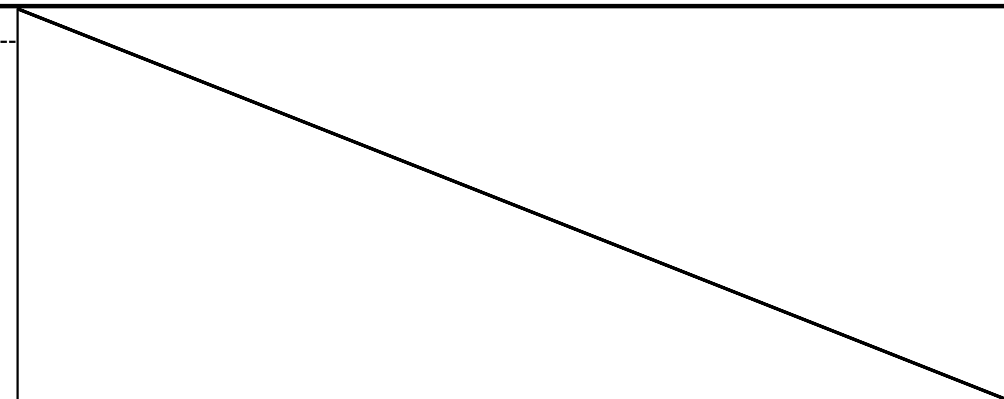
3
年
後
(H28)



NO.4



NO.10





【施業前1】



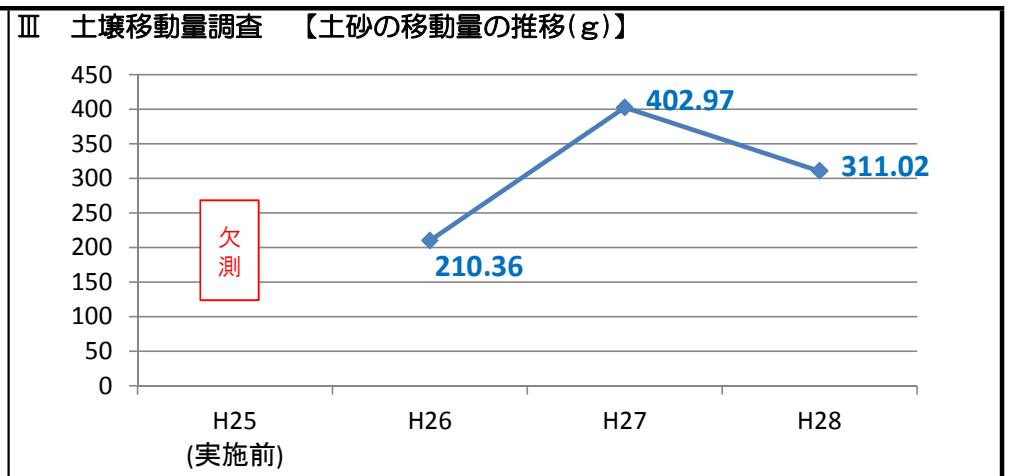
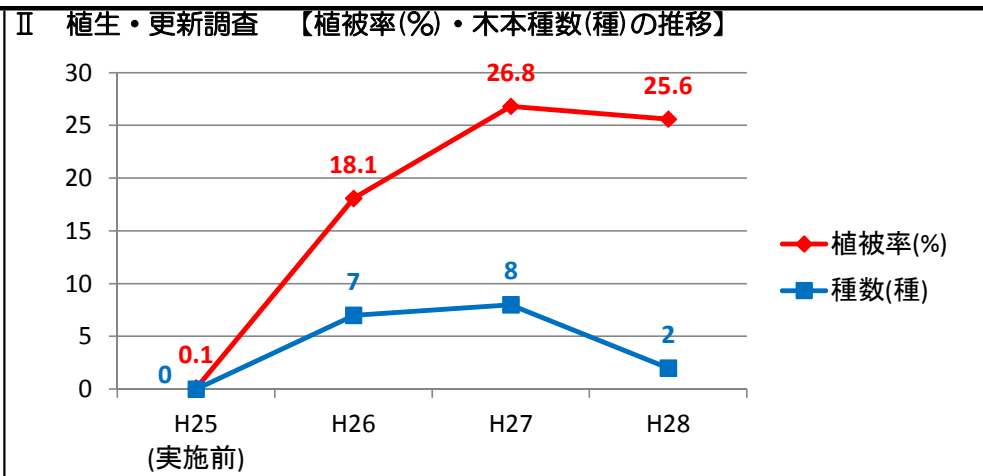
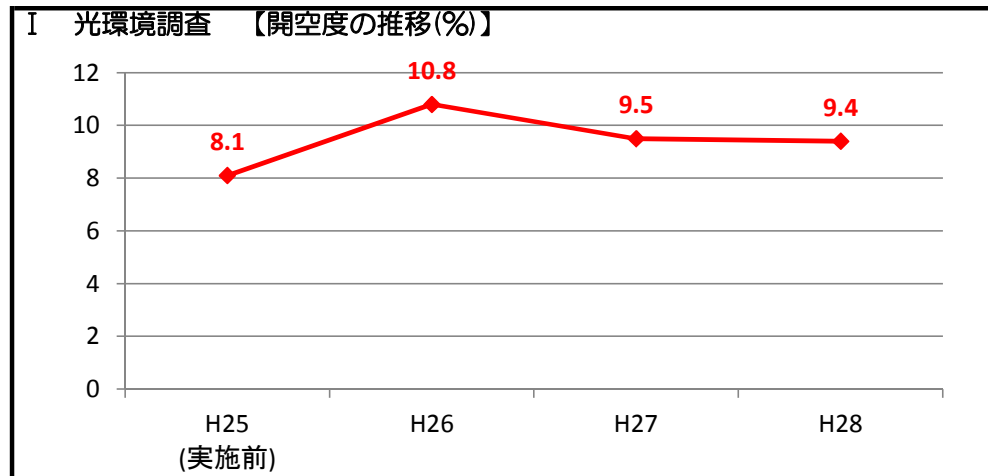
【施業後1】



【施業前2】



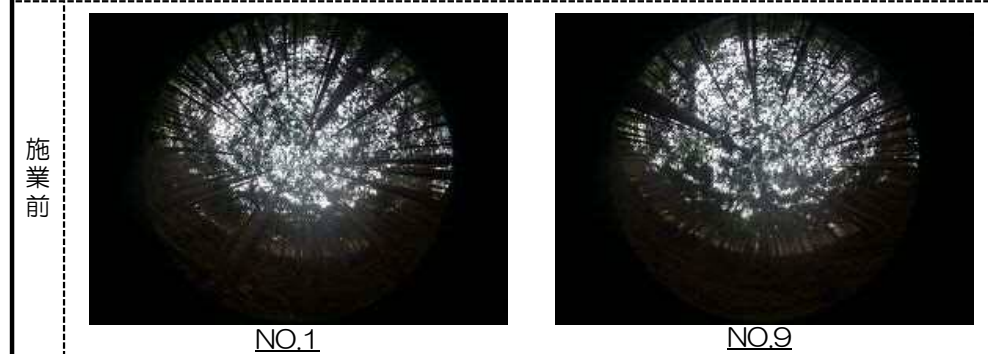
【施業後2】



状況写真

状況写真

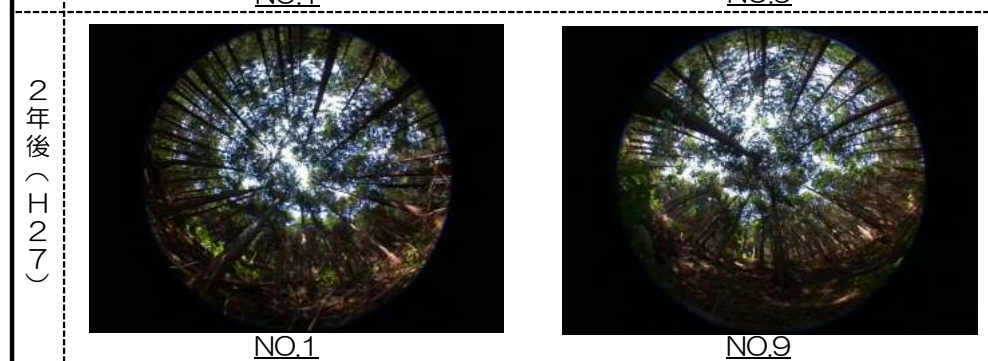
状況写真



【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	63	37	
平均胸高直径(cm)	21.5	24.9	

- 間伐の実施により、林内が明るくなった。
- 地表面の傾斜は35°と急勾配。
- 伐採木が林内に残置されている。
- 腐植層は薄く、表土が露出しているが、安定している。



【所見】

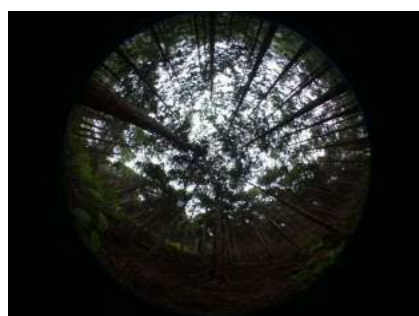
- 開空度、植被率ともに間伐後の状態をほぼ維持していた。
- 植被率は維持され、土砂の移動量は減少した。しかし、移動量は他の箇所と比較して多いので、急勾配であることが関係していることが考えられる。
- 木本種数は減少し、今後の推移を注視する必要がある。

状況写真

3
年
後
(H28)



NO.1



NO.9

状況写真

3
年
後
(H28)



NO.6



NO.8

